

会議記録

●会議名 令和6年度 第4回丹波市社会教育委員の会議

●日時 令和7年2月14日（金）13：30～15：50

●場所 丹波市役所本庁第2庁舎 ホール

●出席者 別添「出欠票」のとおり

●内容

1 開会（社会教育・文化財課長）

2 あいさつ（教育部長、議長）

3 報告事項

（1）社会教育関連会議及び各委員からご報告

ア 丹波アートコンペティション実行委員会委員

2月18日から23日まで春日文化ホール及び植野記念美術館で展示が始まる。昨年は出品数が減少したが今年度は少し増加した。近くで美術を見る機会はなかなか無い。市内の方もたくさん受賞されている。観覧に行ってみてほしい。

イ 丹波市立文化ホール事業推進会議委員 欠席

ウ 丹波市立隣保館運営委員会委員

会議は隣保館の事業の進捗を報告していただき、次年度の計画の審議をしている。今年も人権歴史講座や人権パネルの展示などを行った。

地域交流事業は、毎年行われている料理教室に外国籍の方が参加されるなど、寄り添いながら一緒に暮らしていく方向を考えていく必要があると感じた。視察研修を通して、現地で学ぶことは委員にとって刺激になった。自治会において、DVDでの人権学習が行われている。その自治会にあった内容のDVDを活用可能であると知らせていただいた。人権の大切さを考えるうえで貴重な会であると感じた。

エ 丹波市教育振興基本計画策定審議会委員

毎回、大量の文書を読む必要がある委員会です。子どもたちを中心にとよく言われていましたので、目指していただきたいなと思います。本当は、学校ではサポートの先生をつけなくてはいけない現場になっているのに現状できていません。この計画には細かく記載はされない内容ですが、困っている教育現場をサポートできる人がいるだけで大変助かり

ます。

子どもが学校に行けない状態は、子どもが悪いわけではなく、学校や家庭が悪いわけでもありません。そのような状態の子どものためにフリースクールといった場所があることを記載していただきたいことを伝えました。

自分で判断ができ、自分で考えて行動できる子どもたちを育てるならば、多様性を持った教育現場であってほしいと思っています。

オ 各社会教育委員から

【質問・意見】

委員

文化財保護審議会についてです。

今年度は、特に古文書等の発見が多くあり、大変成果があったと考えています。

文化財の候補など審議することも多く、活発になってきていると感じています。

市島民俗資料館ボランティアを中心として地域の歴史の役に立ちたいという方が増えてきました。官民連携で様々な調査研究が進んでいると感じています。

委員

丹波市教育振興基本計画についてです。審議会は毎月1回程度あり、かなりボリュームのある内容となりました。活発な意見が交わされており、事務局の方も委員の意見を基に内容を盛り込んでいただいているといった印象を受けました。

生涯学習基本計画の審議会にも出席しており、計画は作成中です。

(2) 第3次丹波市教育振興基本計画（令和7年度～令和11年度）について

【質問・意見】

議長

42ページの推進体制についてです。「本計画は、こどもの声を聴き、その声を尊重しながら推進します。」とありますが、具体的にはどのようにこどもの声を聴かれますか。

社会教育・文化財課長

学校では、タブレットを使用してアンケートを取ることや、図書館では来年度策定する図書館の基本計画の内容に子ども読書活動推進計画を含んだ計画にしたいと考えています。読書活動について、学校を通じ、児童・生徒にアンケートを行うことや、ワークショップにてこど

	<p>もの声を聴いていくことを考えています。</p>
議長	<p>定期的なアンケートを取り、全体的にこどもの声を聴くのではなく、それぞれの分野での事業において、こどもの意見を入れるという意味でよろしいでしょうか。</p>
社会教育・文化財課長	<p>この計画の策定について、定期的にアンケートを取ることはありませんが、各事業を進めるにあたってそれぞれの分野では子どもたちの意見を聴いていくことを考えています。</p>
委員	<p>市民の方が読むには、かなりボリュームがある内容だと思います。概要版のようなものを制作する予定はありますか。</p>
社会教育・文化財課長	<p>概要版は教育総務課を中心に作成中です。A4サイズで16ページのものになります。配布は4月以降を想定しています。</p>
副議長	<p>5ページの教育に関するアンケートについて、「自分たちが過ごす学校のきまりをつくることにかかわっているという実感が持てていない児童生徒が2割を超えている」という箇所について、どのような取り組みを進めていく予定ですか。</p>
教育部次長兼学校教育課長	<p>学校の決まりをつくることについては、中学校の校則がよく話題になると思います。丹波市内の中学校においては、生徒会と話をしながら、こどもの意見を取り入れて改正を進めている状況です。ただし、小学校の決まりについては進んでいない状況ですので今後、こどもの声を聴きながら決まりをつくる機会を設けることを考えています。</p>
委員	<p>35ページの「健やかな体の育成とスポーツライフの充実」について、子どもを中心に物事を進めることが書いてあります。昨今の状況では、部活動の地域展開について言われています。文化活動も含めて、教育振興基本計画の中で方向性が見出せているのかが不明です。</p>
教育部次長兼学校教育課長	<p>教育振興基本計画としては、35ページ最下部の「環境整備を行います。」に部活動の地域展開が含まれています。詳細については、スポーツ振興計画に記載すること</p>

になります。

こどもの数が減少しており、教職員の数も比例して減少している中で部活動の維持が難しくなっているということが現状です。実際に人数不足で成り立たなくなっている部活もあります。国もそのような地域があることを認識しており、「地域移行」という言い方から「地域展開」に変更し、地域全体で中学生のスポーツや芸術文化を支える場をつくっていく方向に変化しています。

丹波市としては、まずは、こどもたちが一生懸命やっている部活の受け皿をつくりたい状況ですので、受けていただける団体との調整を行っている状況です。ただ、そろそろ時期を示していかなければならないタイミングとなっていますので、関係団体との調整を本年度中に図っていきたいと考えています。

議長

こどもたちに様々なスポーツを経験してほしいという思いからスポーツクラブが始まったと私は思っています。

地域展開に関して、スポーツクラブとの兼ね合いはどのようになっていますか。

教育部次長兼学校教育課長

スポーツクラブ 21 が始まって 20 年以上経ったことで地域によって取り組みに差が出てきています。丹波市内では休止されているスポーツクラブもあります。スポーツクラブが受け皿になるような展開も考えましたが、現実的には難しい状況です。

様々な部活の経験については、まずは今存在している部活を地域に展開し、多様な選択肢として将来的には考えていきたいと思っています。

委員

こどもたちに関わる環境を整えていく部局は、教育委員会か市長部局の文化・スポーツ課かどちらでしょうか。

教育部次長兼学校教育課長

部活を地域に展開するまでは教育委員会の仕事と考えています。展開後は市長部局だと考えています。

委員

一般社団法人丹波市スポーツ協会で活動させていただく中で、事務局長や代表理事とともに調整の会議等に参加させていただいています。地域展開までは、教育委員会の仕事と仰いましたが、現場の先生方との意見交換会の場などに教育委員会の職員が参加されたことはありません。そういった現実との乖離があります。計画の推進

体制に市民の参画や関係機関との連携について記載してありますので、内容についてはわかりますが、令和8年に地域に展開するとなると1年しか残されていません。教育部局も地域とともに推進していただきたいと思えます。

委員

各学校に地域学校協働活動推進員を配置することを進められていますが、その職務について各学校に任せている状況ですか。何か明確化された職務はありますか。

社会教育・文化
財課長

現在、13名の方に地域学校協働活動推進員として委嘱しています。具体的な活動に関しては、学校によって様々です。以前は、地域学校協働活動推進員協議会（連絡会）を開催し、情報共有をしていました。来年度は、まだ地域学校協働推進員を設置されていない学校も含めて中学校区単位で懇談会を開催する予定です。その中で、設置されている学校、設置されていない学校の情報共有を行う予定です。併せて、令和8年度には学校支援コーディネーターから地域学校協働活動推進員へ移行を考えていますので、ハンドブックを制作することも予定しています。

委員

学校運営協議会のメンバーの変更や、教員の異動の関係、地域学校協働活動推進員の変更も考えられますので、教育委員会として明確な役割を決めていただいた方が学校を運営しやすいと思っています。

社会教育・文化
財課長

学校と地域がどのように子どもを育てていきたいかという目合わせをし、学校運営していくべきものと考えています。また、地域住民が変わらなければ、方針は変わっていかないものと考えますので、そこも含めて話し合いをさせていただきたいと思えます。

4 テーマ研究「社会教育における子どもとの学び」 (1) 令和6年度の振り返り

議長

今回の研究テーマについては、社会教育委員の学びとするのか、子どもの学びにはこういう方向性が必要、こういった事業が必要、取り組みが必要であるなど、提言をするのか。ということについて、第1回の会議では社会教育委員の学びということにするという話にしていま

した。改めて、委員の学びとするのか、アウトプットするのかということをお委員の皆様から聞きたいと思えます。

委員

子育て学習センターは小学校以下の年齢を対象にしています。子育て学習センターでされていることを今年度は学びました。私は参加できなかつたため、自分からの発信はできませんが、来年度に向けて小学生から中学生までに対象年齢を上げたいと思えます。小学校から中学校への変化で不登校が増加していることからこの世代が気になります。

ということから、今年度の学びは委員の学びとし、来年度は年齢層を引き上げて更に学びたいと思えます。

議長

学校の間とは別に地域におけるこどもたちのことという解釈でよろしいですか。

委員

社会教育という立場から、地域におけるこどもたちのことになると思えます。小学校は今変わろうとしています。そこに地域がどのように関わっていけるのかということもありますし、こどもたちがどのような生活をしていて、地域と関わっているのか。地域はそれを受け入れることは可能だと思えます。

議長

今年度の学びに関しては、アウトプットするわけではないということよろしいですか。

委員

はい。

委員

私は、認定こども園の子育て支援室に関わっていますので、今年度のテーマにはとても興味を持っています。ただ、社会教育における子どもとの学びという大きなテーマは難しいと感じています。就学前のこどもに限って振り返ると、小さなこどもを育てている保護者は就労されている方が多く、育休という限られた期間の中で子育てに向き合ったときに、楽しいことはたくさんありますが、ストレスも多いのが現状と思っています。今年度、子育て学習センターを見学させていただきました。子育て学習センターや親子カフェなど、保護者方が行きたいところを選択しながら参加されている姿を見て、素晴らしいと感じました。参加する中で、グループイベントのリーダー選びや準備をする方法が伝統化されており、長

く続けることで主体的に社会に関わる人材が増えたと感じました。一方、その方法は、今の保護者には負担が大きいと感ずることもあるため、自分の参加したいイベントにこどもと参加する方法が一番いいと思います。参加したいけど、都合により参加できない保護者を見逃してはいけないと感じています。

今年度は、就学前のこどもたちのことを中心に社会教育委員として考えていきましたが、なかなかまとめられるようなことではありませんでしたので、来年度は小学生から中学生の世代のことを学ぶことも良いと思います。

議長

来年のテーマの話もありましたが、今年度については今までの話をまとめ、来年度に向けて、小学生以上を対象にした地域でのこどもの学びに大人がどう関わっていくかをテーマにしていくということによろしいですか。

委員

はい。

委員

今年度から社会教育委員の会議に参加していますので確認させていただきたいのですが、このテーマは昨年度から継続しているテーマということよろしいでしょうか。

議長

はい。

委員

今年、青垣の子育て学習センターに行かせていただいて、現場の様子もわかり、良い経験ができました。単に親子が参加されているだけでなく、高校生も参加されており、高校生にとってもこれからのキャリアを考えたり、こどもたちに関わることで新たな刺激を受けるなど、良い取り組みをされていると感じました。

来年のことも含めて考えるということで、社会教育委員に初めて参加させていただいて、社会教育委員とはどういったことを日々していけば良いのかと悩んでいます。個人的には、丹波市の社会教育というものについて委員の皆様と話したいと思っています。私は、社会教育士という立場もあり、文部科学省は社会教育人材の養成、活躍促進にシフトしているという背景もあります。丹波市においても今年度、社会教育主事講習を2名受けられており、着実に増えているなど感じています。改めて、丹波市の社会教育について、将来的にどのように描いて

いけば良いのか、どのようにすれば大人が学び続けることができるのかということも大切だと感じています。子どもが中心ということはもちろんですが、進めるにあたり大人がアップデート、価値観を変化させていくことが大切だと思います。そこに関して、社会教育委員委員はどのように関わっていけば良いのかということや社会教育委員の皆様がどのような取り組みをされているのかということとを共有したいと思っています。

副議長

子育て学習センターは私たちが子どもを育てている時と状況が変わっています。昨年は自分の所属団体で予算取りをして、長い付き合いのある認定こども園と山南子育て学習センターと活動したり、丹波篠山市の幼稚園や市島町の認定こども園と活動しました。そのような中で子育て学習センターで話をする機会も多く、現状がどのようなことで困っているのかなどを話しながら、一緒に地域のこどものために協力し、事業展開しました。今年も一緒に活動していくことを進めています。大きなことだけでなく、小さなことで良いので、このようなテーマが出た時は、社会教育委員自ら学びを深めるために動いていけたら良いなと思っています。私も長年社会教育委員をさせていただいたおかげで様々な学びがありました。それを微々たるものではありませんが、可能なことで丹波市に還元できればと思っています。

議長

社会教育の考え方も委員の話にあったとおり、文科省の新しい考えを勉強していく必要はあるとは思いますが、社会教育は幅広いですので、このような会議を毎週行わないと追いつかなくなります。そういったことをしていく方が良いのか、私も明確にはわかりませんので委員の皆様の意見を聞かせてください。

委員

委員には、それぞれ専門分野がありますので、それを知っておくことは必要だと思います。

地域連携に関しては、今年度は船城地区が大変成果を上げたと思っています。他の地区が船城地区のように出来るかという難しさもあるように、地域や学校によってとても差があります。

部活の地域展開に関しても、現在は、歴史部や地歴部は存在しないのかもしれませんが、仮にそういった部活の受け皿を依頼された場合には、私たちの所属団体の得意分野ですので、選択肢として提供することは可能だと

思います。また、そういった大人も丹波市には多くいると思います。そのような人たちを人材バンク的に選択肢としてこども向けにも大人向けにもアピールしていくことも必要かと思えます。

子育て学習センター以外にも児童館があります。私は児童館の事業にも関わっています。児童館は丹波市に1つしかありません。児童館という名前の建物ですが、高校生でも行くことは可能な場所ですので、上手に活用されればと思います。建物にこだわらなくても児童館という機能を広げていくことはそこまで難しくないのかとも思います。

こどもまんなかは良いと思いますが、こどもだけではなく、その周りに地域の大人たちがそれぞれの得意分野を持って集まっている場があっても良いと思います。それが一つの社会教育委員のテーマになっても良いと感じています。

議長

委員の意見にもあったように場づくりをどうしていくかについて話すことは可能だと思います。一方では、最新の社会教育であったり、従来からの社会教育について考える時間も必要だと思います。社会教育においては、人権教育の視点も大切だと考えていますが、現在の委員には人権教育の専門家はいません。社会教育の討論については、オフ会で場をつくりたいと思います。

来年度のテーマ研究については、議長・副議長・社会教育主事で設定することを一任いただくことを提案します。

委員

委員の方が普段されていることには大変興味があり、ゆっくり話を聞きたいと思っていますので、オフ会で話すということは非常に良いとは思いつつも、この場で、数人でも紹介いただくような機会があれば嬉しいと思います。

テーマ設定に関しては、全員で話をしながらテーマを生み出せたらいいのかとは思いますが、メンバーも変わっていることから、全く新しいテーマでもいいのではないかとありますが、進め方は議長に任せたいと思います。

議長

テーマを第1回目の会議で考えると、その後2～3回しか会議の時間がありません。そのような中で来年度の社会教育計画を見ると、時間がありません。オフ会の時間も有効に活用しながら進めさせていただきたい

と考えています。残念ながら、社会教育委員の会議に必ず全員出席とする訳にもいきません。テーマ研究については、委員が言われたように可能な限り委員全員の意見がいただけるような状態で最終的にお預かりさせていただきます。

委員

身近な学びの場である、自治公民館の学びについて、コロナ禍以降の動きなど、回復を感じているものの参加しづらい雰囲気は少なからずあるため、気になっていますので、話す機会があれば良いと思っています。

委員

子育て支援という立場で関わらせていただいています。しかし、社会教育全体の広い範囲については、深く理解していませんので、社会教育委員が地域でどのような活動をされているのかを聞きたいと思います。

教育振興基本計画には、地域人材や地域を巻き込むようなことが記載されています。教員がどのように捉えられて、社会教育の場で活躍されている人たちとつながり、子どもたちへの教育につながっているのかがわからず、見えてこない状況です。

子育て世代を取り巻く環境から子育て学習センターにも行けない保護者がいると話にありました。市としては、子育て世代を対象としたイベントを企画されているとは思いますが、保護者の目にとまりやすいように広報に力を入れていただきたいと感じました。

テーマについては、決定までに意見として伝えさせていただきたいと考えています。

委員

公民館行事や人権学習会は開催しているけれど、高齢化や少子化により参加者が減少している話題が地域の自治公民館でありましたので気になっています。テーマについては、また意見を伝えさせていただきます。

委員

私は、子育て学習センターのぴあサポーターをしており、子育て学習センターは保護者の癒しの場になっていることを感じています。

社会教育委員として、地域で活躍されている方を知ることができて良かったと思っています。難しいことではありますが、社会教育委員として地域に還せることを考えたりします。

来年度のテーマに関しては、一任します。

議長

社会教育委員の皆様は丹波市の社会教育について考えていただいていることに併せて、普段はプレイヤー側として活躍いただいています。皆様の意見を預かり、次につなげさせていただきます。

5 その他

(1) 丹波地区社会教育委員協議会

令和7年2月10日(月) 令和6年度第2回研修(視察研修:多可町)

(2) 生涯学習基本計画及び図書館ビジョンについての進捗報告

(3) その他

次回:日程調整後改めて委員へ案内

(4) 各課からの連絡事項

6 閉会(副議長)